

タイトル:

第 40 回 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)Brown Bag Seminar Series  
「PM2.5 による気候変動」

■概要:

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)では「Brown Bag Seminar Series」を4月から毎週水曜日のランチタイムに開催いたします。本学のアジア・オセアニア地域やSDGsに関連する最新の研究活動を多くの方に知っていただき、異分野研究ネットワークや交流やきっかけの場を提供できればと思います。どなたでも気軽に御参加いただける内容となっております。途中参加、途中退室もOKです。皆様の御参加をお待ちしております。

■日時: 2022年3月2日(水) 12:10~12:50

■形式: Zoom Webinar

■当日プログラム:

12:10~12:15 座長 田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

12:15~12:40 演者 竹村 俊彦 教授 (九州大学 応用力学研究所)

「PM2.5 による気候変動」

12:40~12:50 質疑応答

■言語: 日英同時通訳あり、スライドやポスターも日英2言語に対応

■参加費: 無料

■定員: 500名

■参加申込:

お申込みは下記、登録フォームよりお願い致します。

登録フォーム URL: [https://zoom.us/webinar/register/WN\\_6RychyBLR8i6WEISKzVkmg](https://zoom.us/webinar/register/WN_6RychyBLR8i6WEISKzVkmg)

申込期限 : 各回開催日当日セミナー終了時まで

■問合せ先:

九州大学Q-AOS事務局

TEL: 092-802-2603・2605

Email: [aoevent@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:aoevent@jimu.kyushu-u.ac.jp)

◎詳細や今後の予定につきましては、Q-AOS ホームページをご覧ください。

◆Q-AOS HP <https://q-aos.kyushu-u.ac.jp>

◆Facebook <https://fb.com/115565526935234>

◆Twitter [https://twitter.com/Q\\_AOS2019](https://twitter.com/Q_AOS2019)

◎本セミナーに関する情報はどなたに共有いただいても問題ございません。

ぜひ興味のある関係者・知人の方々へご周知いただけますと幸いです。

# Brown Bag Seminar

ブラウンバッグセミナー

録画期間限定公開  
オンライン(Zoom)

# 2022.3.2

(水)



【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

登録はこちら

日 ← 同時通訳 → 英

## 12:10 ~ 12:50

- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

[https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_6RychyBLR8i6WEISKzVkmq](https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_6RychyBLR8i6WEISKzVkmq)

# PM2.5 による気候変動

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

13 気候変動に  
具体的な対策を



大気中の微粒子（エアロゾル）は、大気汚染の原因となるだけではなく、気候変動も引き起こします。PM2.5は、エアロゾルの中でも微小な粒子の総称です。エアロゾルの時空間分布と、エアロゾルによる気候変動をシミュレートできる気候モデルを自ら開発してきました。本セミナーでは、エアロゾルによる気候変動のメカニズムを解説するとともに、これまでの研究成果を紹介します。

布と、エアロゾルによる気候変動をシミュレートできる気候モデルを自ら開発してきました。本セミナーでは、エアロゾルによる気候変動のメカニズムを解説するとともに、これまでの研究成果を紹介します。



竹村 俊彦 教授

九州大学 応用力学研究所

東京大学大学院理学系研究科博士課程を2001年に修了して博士(理学)を取得後、同年、九州大学応用力学研究所助手に着任しました。その後、准教授を経て、2014年に同研究所教授となりました。専門は大気中の微粒子(エアロゾル)により引き起こされる気候変動・大気汚染を計算する気候モデルの開発です。国連気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書主執筆者を務めたほか、Highly Cited Researcher(高被引用論文著者)に7年連続で選出されました。SPRINTARS PM2.5・黄砂予測を運用して、一般向けに毎日情報提供しています。2018年度日本学士院学術奨励賞など受賞多数です。

